

会員の皆様の近況報告

編集部

『ちさと会 探訪記』

今年の四月十九日、千里阪急ホテル 千寿の間にて、約150名の参加者で「ちさと会」総会及び懇親会が開かれました。

千里阪急ホテル 千寿の間 とは、当ホテル最大の広さではないかと思われます。ということとは、参加者を絞り気味に催されているのではないかと千里山会

の世話人の一人として垂涎の思いにかられました。

千里山会の会員からも平田さん、尾川原さん、奥田さん、萩原(私)、増田さんが参加。

千里山会でもお馴染みの松村さん、口羽さん、山本さん、浅野さん、樺山さん、細見さん、瀧さんのご尊

顔を拝することができました。

私(萩原)がなぜ、この『ちさと会』に出席したのか言え、ちさと会で常任幹事をされている瀧梢・大先輩(旧姓大森・小・中・高での大先輩)から、「今度の『ちさと会総会』では是非、私と幼稚園・千二小で大の仲良しであった延原武春氏(日本テレマン協会創立者で前代表者 現役時代はオーボエ演奏者)に演奏をお願いできないか もし無理でもせめてスピーチでもしてもらおうよう交渉せよ」との命令が下りました。

延原氏の秘書役をされていた中野氏と交渉して、なんとかスピーチして頂くことに決まりました。

さて、延原氏の話は頁を改めてご披露させて頂くとし、話を『ちさと会』に戻せば、

* 山本平八郎ちさと会代表挨拶

* 延原武春氏のスピーチ

* 休憩に続き、親睦会

* 木谷事務局長の挨拶

* 富田利和8期生 乾杯&挨拶

と続き、歓談のBGMとして、バンド演奏及びハワ

イアンダンスが披露されました。

バンドは25期生 井上さんを始めとする皆さん

であったが、私にはまるでプロのように写りました。

思わぬ人との再開や楽しい歓談のうちに、3時間にあつという間に終わり、29期生岩橋千賀子さんの中締め挨拶で終了しました。

延原武春氏のスピーチ

さて、今回の『ちさと会』でのスピーチは、東京 上野の東京文化会館で日本テレマン協会定期演奏会が開催され、それに出演された翌日のことです。演奏は夜の七時から九時までですので、恐らく最終に近い新幹線で神戸のご自宅まで帰られ、翌日、ちさと会に出席して頂くというハードスケジュールでした。

私はその演奏会に行き、翌日大阪に行きました。

演奏は、ジオルグ・フィリップ・テレマンの『食卓の音楽 第一集 6曲』です。バロック時代に王侯貴族が宴で食事をする際、そこでBGMとして演奏された音楽です。

それこそ延原氏が常に追求されている『楽しむこと』にピッタリの曲だったのではないのでしょうか。

ただ、この日の6曲中、4曲で指揮を1曲では自らオーボエを演奏され、思わず「歳を考えて！」と心の

中で叫びました。

翌日の『ちさと会』には神戸の自宅から、自らの運転で千里阪急ホテルに見えました。

いつもの軽妙な話術で、千二小時代の話、大阪音大付属高校―同大学時代の話へと続きました。氏自身の口から、元々は画家になろうと思っていた。しかし自宅が豊中の方に変ったので、家から近い音大付属高校へと進んだ。とご披露。

氏をよく知る私からすれば、どちらへ進まれようが、超一流の芸術家になられたであろう と思いました。

紋付・袴のクラシックの世界に生きる氏が、即妙な話術でちさと会の皆さんを魅了し、チクリと昨今の若者批判も織り交ぜ、40分という時間が終わりました。

「いずれ『ちさと会』で演奏しましょう」と約束されて、颯爽と自らが運転される車で、会場を去っていかれました。

私としては、むしろ『千里山会』で演奏して欲しいのですが・・・

日本テレマン協会が

朝日新聞に掲載

『聖堂に響くカンタータ』

六月二十日 アメリカ大使館、スエーデン大使館、アークヒルズ、サントリーホール等が並び、洗練された街、赤坂一丁目にある 霊南坂教会で、日本テレマン協会の定期演奏会が開かれました。

そのことを六月二日の朝日新聞が、下記のように取上げておりました。ご紹介させて頂きます。

音楽



延原武春(右)率いるテレマン室内オーケストラ。若手演奏者の姿が目立つ=5月、大阪・中之島公会堂

「社会と共に生きる」 原点みつめる演奏

自前の室内オーケストラと合唱団を東、関西を拠点に活動する日本テレマン協会が20日、東京・赤坂の霊南坂教会でパッハの教会カンタータを軸にした演奏会を開く。1986年、サントリー音楽賞の受賞記念公演をした思い出の地だ。「社会とともに生きる楽団を志してきた。この公演を

日本テレマン協会が20日、東京で

「指揮者の独善に縛られず、奏者ひとりひとりが自由に歌い交わす楽団をめざしてきた」。楽器や演奏形態を柔軟に選ぶことのできる古楽が、おのずと確立した。しかし、使うのは古楽器ではなく現代の楽器だ。各指揮者アルハルト・ポッセがあるとき、あまりにも疾走感に満ちたテンポでパッハを奏するため、驚きを伝えたと「パッハが動いていた教会は、さほど残響がなかった。間延びするから、きつてこれくらいのテンポで演奏されていたはずだ」と返された。

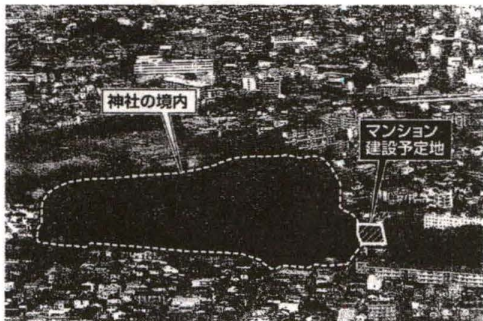
「作曲者の意図や時代背景を深く知り、当時の空気をわがものとする」ことでより革新的な演奏が可能になる。古楽を単なる学問ではなく、想像力を広げるものとして、若い世代に伝えていきたいのだ。公演は午後7時から。4千円、65歳以上2千円。06・63345・1046(発信)。(編集委員・吉田千子)

鎮守の森 住民守った

1300年の歴史を持つ吹田市の垂水神社で、背後に広がる「鎮守の森」の一角に、マンションの建設計画が持ち上がり、住民らが約3年にわたって反対運動を展開、11月になって業者側が計画の中止を決めた。同神社がマンション建設予定地(約1000平方メートル)を業者から買い取り、整備後に森のまま保存する。専門家によると、鎮守の森は開発により各地で減少しているのが現状で、建設計画の中止により森が保護されるケースは珍しいとい

が変化したりするのを懸念して氏子らが反対を表明。同5月には、地元2連合自治会の会長が吹田市長らに「計画地を市有地にして森を守ってほしい」とする要望書を提出した。地元自治会の住民と氏子らは建設に反対する会を結成し、昨年4月以降は会の名称

吹田・垂水神社



市民らの反対運動で、マンションの建設計画が中止となった垂水神社の鎮守の森一帯(吹田市で、本社へから)

マンション計画中止 反対運動実る

「日本人の英知」各地で姿消す

開発で鎮守の森が姿を消したり、自然環境が脅かされたりする例は後を絶たない。各地で「鎮守の森」の保護や、森を作る活動を続ける横浜国立大の宮脇昭名教授(植物生態学)は「土地固有の樹木が残る鎮守の森は、心の故郷であるだけでなく、火事や自然災害から人の命を守ってきた日本人の英知の基盤。守り育てていかなければならない」と話す。

を「垂水の森を守る会」に変えて、森そのものの維持を会の活動方針として広く市民に訴えかけ、今年1月までに1万3500人分の署名を集めた。業者は2月、神社側に計画地の売却を打診。話し合いの結果、11月7日、神社が計画地を買い取る契約が成立した。業者は読売新聞の取材に「コメント」して、同神社の守る会のメンバーで、同神社時代の一人の松山勝信さん(57)は「鎮守の森で遊び、育った者として」としても守らなければ」という責任を感じ、土地所有者の権利もあつて、森を守りたくても難しいのが現実だ」

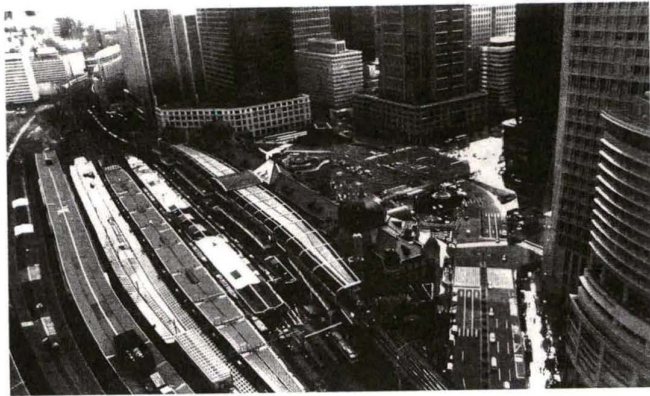
平成 25 年 12 月 18 日 読売新聞朝刊

27 回生 (昭和 31 年卒) 学年会

実施日 : 平成 26 年 4 月 5 日 場所 : 東京駅八重洲北口



前列 : 左から 戸島 (大石) 三木 (室井) 萩原
後列 : 左から 城戸 (吉田) 角田 (六角) 宮林 (村田) 本川 (松川)
熊谷 増田 (柏倉) 高見 宮後 () 内は旧姓



ホテルの 27 階上から見た JR 東京駅 駅を上から見ることは滅多にない

お天気に恵まれ、また今年最後の桜であった。このところ 2 年に 1 度学年会を開いている。後、5 名ほど増える可能性はある。

但し、今日は皇居内の一部を 乾門から見学できるとあって、東京地下駅は凄まじい込み具合であった と聞いた。

千三小 (昭和 53 年卒) 亀田誠治氏が紙面に

編集部

昨年の会総会で、大阪よりお見えになっていた 18 回生 : 諏佐奈々子様より、「亀田誠治を知っているか? 今や、NHK の秘蔵っ子で売っ子スター。千三小で、諏佐さんの息子さん、私 (萩原) の姉 (現高島) の長男 (高島勲) と仲がよかったと教えて頂きました。

正直言って、音楽に暗い私は亀田氏の名前は全く知りませんでした。

早速、私の甥っ子・高島勲にコンタクト。しかし、小学校時代はともかく、その後、亀田氏はお父さんのお勤めの関係で東京へ。以来、没交渉とのこと。

最近の新聞に氏が載っていたので切り抜き、皆様にご紹介させていただきます。

亀田誠治が新刊

椎名林檎や平井堅、スピッツ、いきものがかりなど人気アーティストの楽曲プロデュースを手がけてきた亀田誠治 (49) が、愛してやまないポピュラー音楽の作品に対するコラムをまとめた『カメラ式 J-POP 評論「ヒットの理由」』(オリコン・エンタテインメント刊、1728 円) が出版された。名プロデューサーによるヒット曲の種明かして、楽しい読み物に仕上がっている。(楠田寿宏)

人を幸せにするのが音楽



「音楽ほど空気を交えられるものはありません」と話す亀田誠治 (野村成次撮影)

音楽ビジネス誌「オリジナルコンフィデンス」に連載したコラムに加工した。毎週 1 回、旬のアーティストの旬の作品についてコメントする内容で、例えば由紀さおり&ピンク・マルティニの「1969」に対しては「元来グループがないといわれては日本語の弱みがある」と評している。

平井と J-POP への熱い思いを語り合った対談も収録。朝型の生活をjとして時間を有効に使っていることやオーディションで新人を見ている際の基準など、ヒットメーカーの仕事の裏側も明かしている。

亀田は執筆のほか、テレビやラジオの番組で J-POP の魅力を分かりやすく解説している。こうした活動に力を入れる理由について、「僕

カメラ式「ヒットの理由」

うこと。自分自身、毎日すばらしいアーティストと一点の曇りもない気持ちで音楽を作っているのだから、どうやって作っているかというのを知ってみたいんです」と説明する。

そんな亀田の「いい音楽」の基準は明確だ。「人を幸せにする音楽です。そのために必要なのは伝わりやすさということ。ちゃんと歌詞が聞こえているか、メロディの組み合わせは分かりやすいか、聞いた瞬間に分かるようなイントロになっているか。いつも考えています」と語る。

子供のころから全米トップ 40 ラジオ番組を兼みしていたという亀田。ある時期まで「洋楽至上主義」だったが、椎名のプロデュースをしたときに考え方が変わったという。「彼女は、マライア・キャリが好きです。美空ひばりも、サビー

ナッツも、サ・ビートルズもって言うんです。洋楽だとか邦楽だとか意識せず、アーティストの熱量だけを認めている。そんな意見を聞いて、私自身が変わりました」

J-POP というフィールドを生きていくと決心した。すると、いづれ生まれた。亀田がプロデュースした椎名の作品を気に入った平井のサイドから仕事のオファーが来た。新たな仕事に取り組みすることになったのだ。

彼女のヒット曲を世に送り出してきた亀田が、いい作品を生み出す秘訣として挙げるのは「信頼」だ。

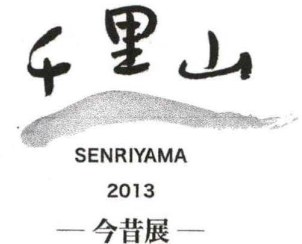
「約束を守る、嘘はつかない。そうして得られる信頼が最大の武器です。信頼を勝ち得ながら本気で音楽に取り組み、そうすることで、アーティストにまた僕と組みたいと思ってくれます。CD が売れただけ売れたか以上に大切なことです」

千里山今昔展図録集が発行されました

昨年5月千里山・佐井寺(ちさと)図書館で「千里山今昔展」が開催され、多数の来館者で賑わいました。テーマ別にパネルに貼られた、初めて見る様な貴重な写真が500枚以上、詳細な説明や年表など「千里山90年のあゆみ」に相応しい展示会でした。

今年4月「千里山まちづくり協議会(会長筒井一光氏)によりすべての展示物を網羅し、更に説明も追加された図録集が出版されました(A4版横型総75ページ)。

33田代為寛(しんたろう)さんの紹介と漫画、カラーイラストも大きく載っています。昨年の総会でお借りしたパネルを展示しましたが、時間の関係もあり十分ご覧頂けず残念でした。今回「千里山まちづくり協議会」のご好意により実費で提供頂けることになりました。会員の皆様には懐かしい千里山の思い出一杯の「千里山今昔物語図録集」をご購入頂くようお願いしております。ご希望の方は総会出欠はがきの図録集購入希望欄に記入の上ご返送下さい。



総会出席の方 9月27日(土)の総会当日実費500円を総会費と共にお支払下さい
 総会欠席の方 実費+送料700円を会費振込時に納入願います。
 会費振込用紙の金額欄を2700円に修正願います。

I. My Hometown SENRIYAMA on My Mind	i	III. 大型展示パネルでみる千里山住宅地の推移	vii
II. 千里山住宅地 図面等	ii	1900年～1920年、1940年～1960年	
千里山住宅地平面図、千里山住宅地経営地		1970年～1980年、1990年～2000年	
千里山住宅地見取図、		マップ 航空写真 イベント まちなみと生活	
昭和16年作成絵葉書等		千里山団地 千二小学校と第一中学校 その他	

目次	頁	目次	頁
1. 千里山住宅地のあゆみ	1	昭和20年頃 千里山の園	
千里山住宅地のあゆみ 北大阪電気鉄道と千里山		昭和40年頃 千里山団地、千里山東地区	
千里山の地名由来		平成3年頃 千里山西を望む	
2. 千里山関連略年表	3	8. 田代しんたろうさん紹介	39
3. 千里山の人口推移	5	9. 千里山開発記念碑と千里山住宅開発	41
4. 千里山うろおぼえイラストマップ	6	10. 千里寺の句碑、「雨月」と千里山	42
5. 展示パネルでみる千里山の昔と今	7	11. 千里山今昔展 展示風景	43
阪急電車 千里山駅 関西大学 千里山遊園		12. 「千里山ゆかりの人」特設コーナー展示資料リスト	45
千里山第一噴水 千里第二小学校と吹田第一中学校		13. 千里山今昔展 講演会・座談会風景	47
千里山にあったもの 地域生活 千里山らしい家		14. 千里山今昔展 上映DVD	49
坂と緑		15. 千里山今昔展 展示準備風景	50
6. 卓上パネルでみる千里山の昔と今	19	16. 千里山今昔展 ポスター・ちらし	51
千里山駅 街並み 住宅 眺望 消防 神社		17. 千里山今昔展 マスコミ報道	52
千里第二小学校 第一噴水		18. 千里山今昔展 アンケート	53
7. 航空写真	35	19. 参考文献	57
昭和20年頃 千里山西地区		20. 謝辞 編集後記	59